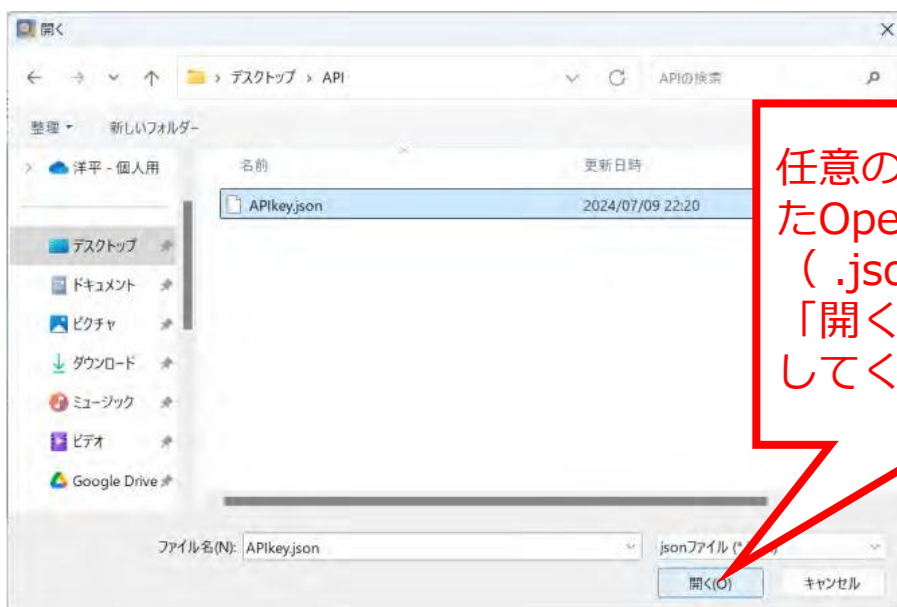
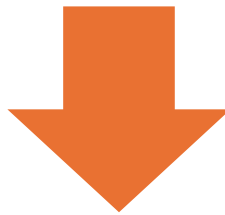
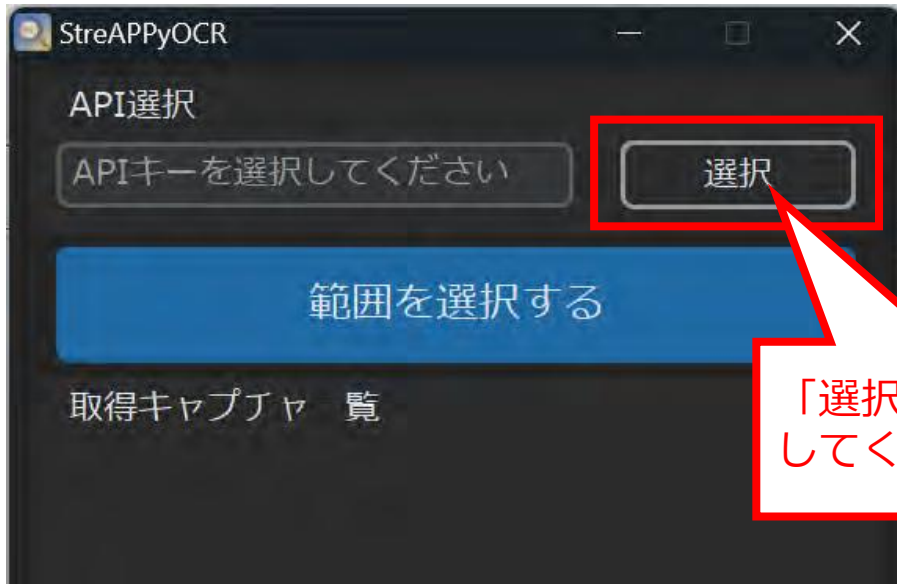
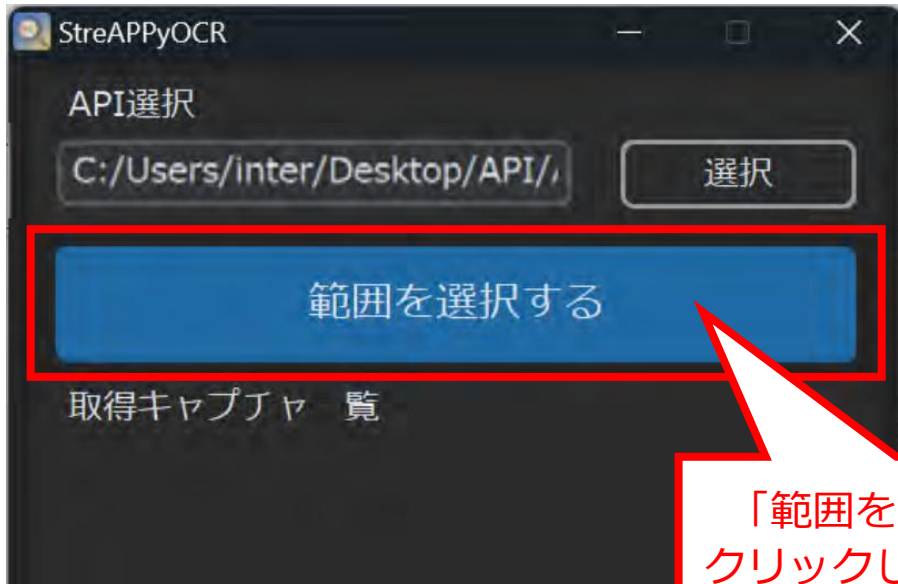


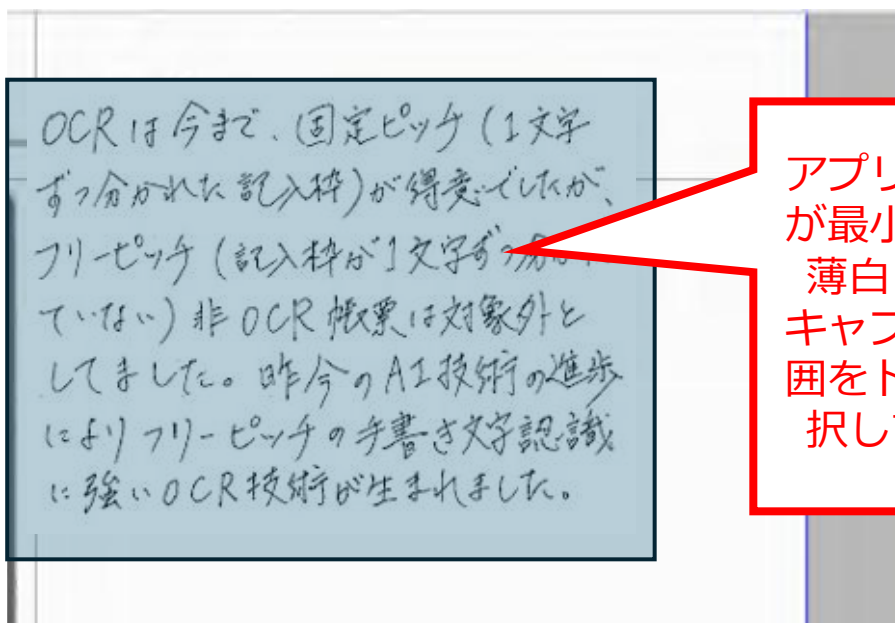
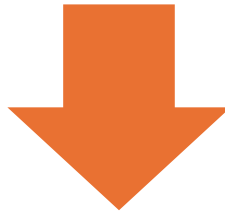
# 1. OpenAI APIキーを取得し、アプリを起動する



## 2. 画面の範囲を選択してキャプチャする

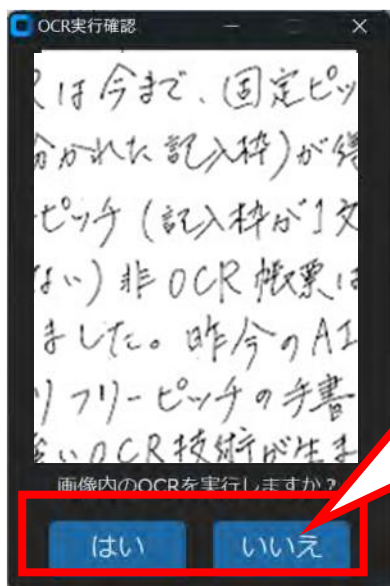


「範囲を選択する」をクリックしてください。



アプリのウィンドウが最小化され画面が薄白くなるため、キャプチャしたい範囲をドラッグして選択してください。

### 3. OCRを実行し、テキストまたは画像を取得する



実行確認ウィンドウが表示されるため、キャプチャ内の文字をテキストとして取得したい場合は「はい」、画像として取得したい場合は「いいえ」をクリックしてください。



OCRは今まで、固定ピッチ（1文字ずつ分かれた記入枠）が得意でしたが、フリーピッチ（記入枠が1文字ずつ分かれていない）非OCR帳票は対象外としてきました。昨今のAI技術の進歩によりフリーピッチの手書き文字認識に強いOCR技術が生まれました。

OCRは今まで、固定ピッチ（1文字ずつ分かれた記入枠）が得意でしたが、フリーピッチ（記入枠が1文字ずつ分かれていない）非OCR帳票は対象外としてきました。昨今のAI技術の進歩によりフリーピッチの手書き文字認識に強いOCR技術が生まれました。

手書きの文字であっても、簡単にテキストへ変換できます。クリップボードにはまとめて、50個までのOCRデータが保管でき、作業を効率化できます。